令和７年度事業の決算を認定

昨年度の決算審査を実施

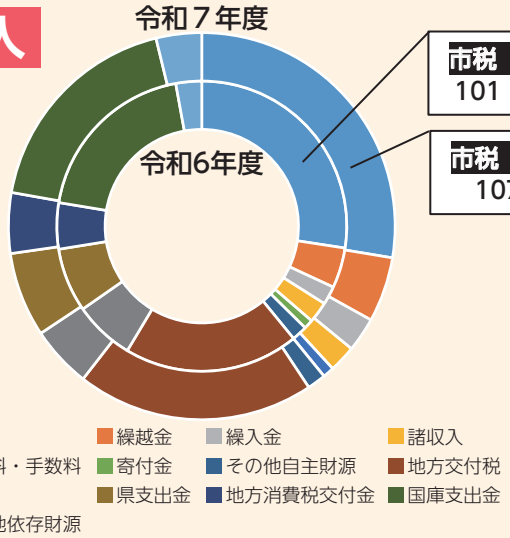
議会は予算決算委員会において、９月４日から９日にかけて分科会を、16日に全体会を実施し、決算審査を行いました。決算審査は、令和７年度の予算が目的に沿って使われていたか審査し、改善点を市に伝え、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

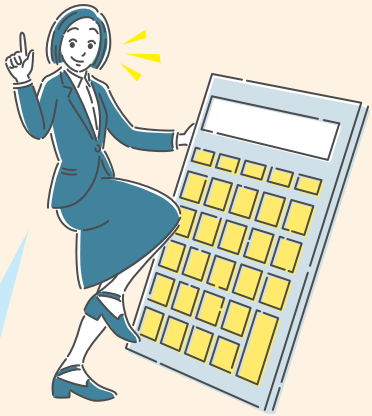
一般会計の決算額

歳入 390億6,018万1千円
（昨年度比 22億6,256万9千円 増）

歳出 372億2,431万6千円
（昨年度比 21億8,077万7千円 増）

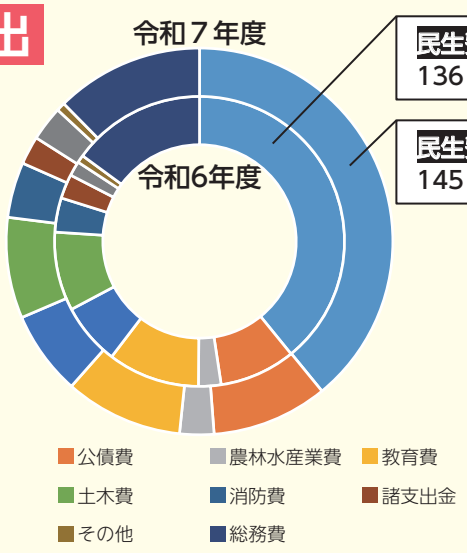
歳入





歳入では、R6定額減税による反動と、賃金水準の上昇及び高齢者の就労拡大等による所得増などにより約５％増加しました。

歳出





歳出では、児童手当事業、障害者自立支援給付事業、民間認定こども園運営事業、民間保育所運営事業などの増により民生費が８億円以上増加しました。



歳入・歳出額の内訳の詳細や、特別会計などの決算額、財政指標などは広報かさま10月号をご覧ください。

令和７年度決算の注目事業

教育費

北川根小学校整備事業
約2億9,432万円



北川根小学校の校舎改修工事を実施しました。

土木費

笠間ＰＡスマートＩＣ整備事業
約3億310万円



完成イメージ

笠間ＰＡスマートＩＣ整備、案内標識整備、物件移転等補償などを行いました。

民生費

すくすく子育て応援事業
約1億2,809万円



物価高騰による家計の負担が大きい子育て中の保護者に対し、育児に必要な用品を購入する券（2万円分）を支給しました。

問 環境不法行為監視事業における不法投棄の状況や通報があった件数は。（資源循環課）

答 通報件数は年間80件。不法投棄の場所は山中、道路より下がっている場所など、道路から死角になるような場所。また、市外から生活ごみ以外のごみを市内の集積所への持ち込む等、手口は多岐にわたっている。

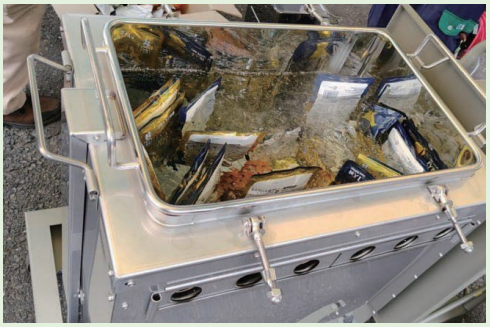
問 ＩＴ未来高校との連携事業である、ドローンを活用した調査・研究事業の内容は。（秘書課）

答 地域の課題解決のため、ドローンをプログラミングで制御できる人材の育成を目指している。



問 地域防災緊急整備事業にて、防災設備強化のために整備した資器材の数は。（危機管理課）

答 令和７年度で、自動ラップ式トイレ50基、避難所用テント55張り、燃料式炊事ユニット４台、アルミベッド400台を整備した。



一度に100人分が炊飯可能な液燃料式炊事ユニット（レスキューキッチン）

問 児童クラブ支援員等処遇改善事業補助金の内容は。（こども福祉課）

答 公設及び民間が運営する児童クラブの支援員の月額を９０００円増額して支給をするもの。

問 観光周遊バス運行事業の必要性は。また、市民の利用は可能か。（観光課）

答 観光周遊バスは、市外から来た方の周遊を促すためには必要なもの。また、市民の方も利用可能なため、より活用しやすいよう常に研究して、改善していく。

問 令和７年の大雨で笠間支所付近で内水氾濫と思われる状態になったが、対策は。（管理課）

答 内水氾濫を防ぐためには、下流側の涸沼川の改修が重要。水戸土木事務所と市の都市建設部で連携し、涸沼川の改修に協力する形で、内水氾濫を軽減するよう努めていく。

９月４日から９日までの分科会審査で執行部との活発な質疑応答が交わされ、９月16日の全体会審査において討論、採決を行い、全ての会計を原案のとおり認定すべきものとしました。

そして、定例会最終日（9月18日）の本会議で、委員長が審査結果を報告し、採決の結果、

全ての決算を認定しました。